

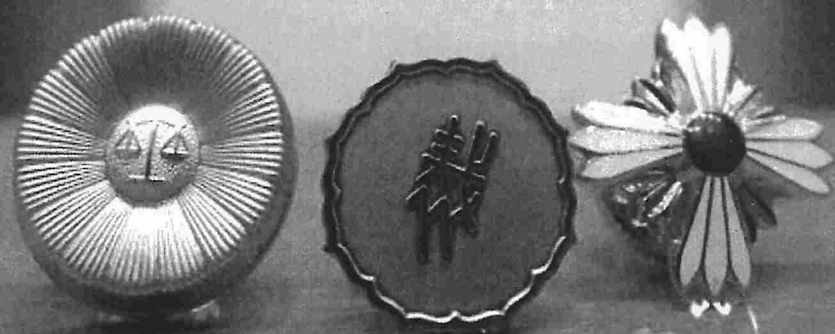
決裁・供覧

件名	令和元年度広報企画「法曹という仕事」について				文書番号			
					最高裁広第158号			
伺い文	別添のとおり、広報企画「法曹という仕事」を開催してよろしいでしょうか。							
起案	起案日	令和1年5月29日		受付日				
	部署	最高裁判所 最高裁判所 事務総局広報課 広報課 広 報係		決裁	決裁処理期限日			
				決裁	決裁日	1.5.29		
	起案者	中平 義隆		施行	施行処理期限日			
	連絡先	内線3156			施行日			
	分類名称	大分類	(広報) 広報 (事務)		施行先			
		中分類	広報活動		施行者			
		名称(小分類)	広報活動等 (平成31年度)		取扱上の注意			
	取扱区分	秘密区分			格付け	機密性格付け		
		秘密期間終了日				取扱制限		
指定事由				保存	行政文書保存期間	5年		
					保存期間満了時期	令和7年3月31日		
決裁・供覧欄	<div>広報課長 広報課 課長補佐 専門 広報係 広報係</div>							
備考欄								

令和元年度「法曹という仕事」広報企画骨子

- 開催日 令和元年7月29日（月）
午後1時20分から午後4時40分（受付開始午後1時05分）
- 実施主体 最高裁判所、法務省及び日本弁護士連合会の共催
- 庶務 法務省及び日本弁護士連合会の協力を得て、最高裁判所事務総局広報課
において行う。
- 会場 最高裁判所
- 主な対象 大学生及び高校生（ただし、中学生が参加を希望する場合には、広く受け入れる。）
- 募集人数 200名
- 申込 メールによる事前申込み（先着順）
- 内容 講話（最高裁判事）、法曹三者による基調講演（概要説明）、パネルディスカッション、各ブースでの個別の説明及び質疑応答

法曹三者（裁判官，検察官，弁護士）が，社会における
法律家の役割，仕事のやりがいをお伝えします。



法曹という仕事

令和元年 7 月 29 日（月）13時20分

場所：最高裁判所（東京都千代田区隼町4-2）

対象：主に大学生・高校生

（申込先着順200名）

申込：メールで申込み（定員に達し次第，受付終了）

共催：最高裁判所，法務省，日本弁護士連合会

イベントの詳細い内容，
申込方法は，こちら

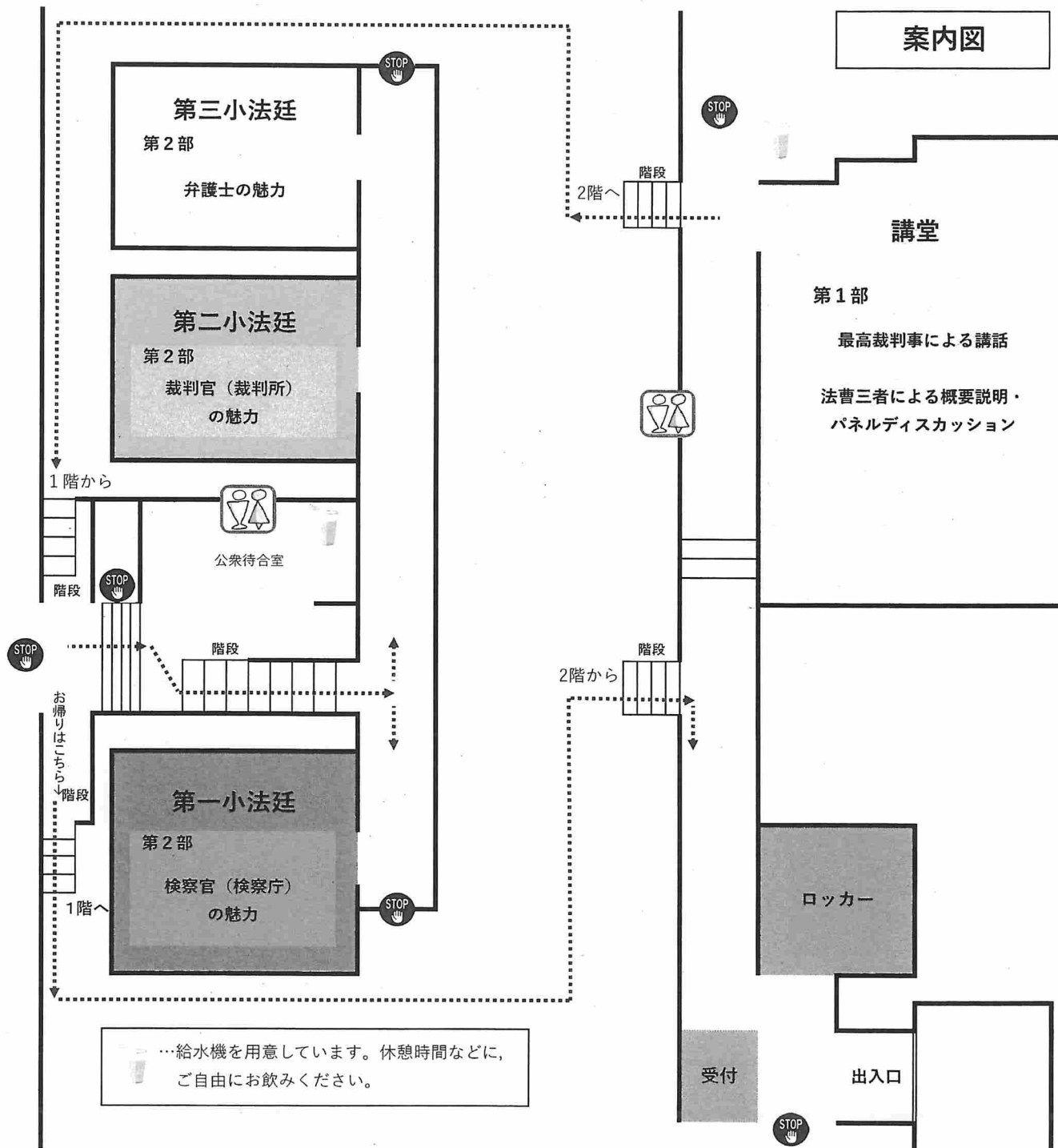
[http://www.courts.go.jp/saikosai/
kengaku/housou/index.html](http://www.courts.go.jp/saikosai/kengaku/housou/index.html)



※この写真は，複製禁止です。

「法曹という仕事」

時刻		プログラム		
13:20	{	案内開始・開会の辞 (講堂)		
		最高裁判事による講話		
		法曹三者による概要説明 ①「検察官の役割について」 ②「弁護士の役割について」 ③「裁判官の役割について」		
14:10				
(休 憩)				
14:25	{	法曹三者によるパネルディスカッション 「法曹という仕事の魅力について」 (講堂)		
15:05				
休憩・移動時間 (講堂から各小法廷へ)				
1st.		第一小法廷	第二小法廷	第三小法廷
15:25	{	検察官 (検察庁) の魅力 20分×3コマ	裁判官 (裁判所) の魅力 20分×3コマ	弁護士 の魅力 20分×3コマ
2nd.				
15:50	{			
3rd.				
16:15	{			
16:35				
終了 ～アンケートにご協力をお願いします。～				



注意事項

本日は「法曹という仕事」にお越しいただきありがとうございます。

注意事項は下記のとおりですので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

★各見学場所には係員がおります（青いリボンが目印です。）。

体調がすぐれないときやご不明な点があるときは、係員にお声がけください。

★参加者による写真・動画の撮影、録音はできません。

★係員が、写真・動画の撮影、録音をさせていただいております。撮影した静止画・動画素材は、最高裁判所、法務省、日本弁護士連合会の広報活動やレポート等に利用されることがありますので、ご了承ください。写真等に写り込みたくない、写り込んだ素材を使用されたくないなどのご希望がありましたら、係員にお伝えください。

★報道機関が取材をしております。報道される場合もありますので、ご了承ください。

★庁舎内では、走ったり、椅子以外の場所に腰掛けたりしないでください。

また、庁舎内は工事を行っている場所があります。見学場所以外の立入りはご遠慮ください。

★お持ちになった飲み物は、なるべく給水機付近でお飲みください。講堂内・小法廷内・小法廷前廊下では、お飲みになれません。

★スマートフォン・携帯電話は、他の方のご迷惑にならないよう電源を切るか、マナーモードに設定の上、通話はお控えください。

★敷地内における「歩きスマホ」は大変危険ですので、ご遠慮ください。

★小法廷の壁掛けやスイッチなどには手を触れないでください。

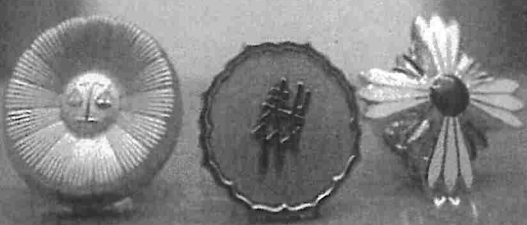
★お帰りの際にアンケートを回収させていただきます。ご協力お願いいたします。

法曹という仕事(法曹三者共催企画)

実施結果はこちら

定員に達したため、募集を締め切りました。たくさんのご応募ありがとうございました。


法曹三者（裁判官，検察官，弁護士）が，社会における法律家の役割，仕事のやりがいをお伝えします。



法曹という仕事

令和元年 7 月 29 日（月）13時20分
場所：最高裁判所（東京都千代田区千代田4-2）
対象：主に大学生・高校生
（申込先着順200名）
申込：メールで申込み（定員に達し次第，受付終了）
共催：最高裁判所，法務省，日本弁護士連合会

イベントの詳細内容、
申込方法は、こちら
<http://www.courts.go.jp/saikosai/kengaku/housou/index.html>



※この写真は、複製禁止です。

裁判官，検察官，弁護士のいわゆる「法曹三者」が一堂に会して，大学生や高校生の皆さんを主な対象に，社会における法律家の役割や三者それぞれの仕事のやりがい，魅力を紹介します。
「社会の役に立つ仕事をしたい。」「法律を扱う仕事に興味がある。」「実際に法律家から仕事の話を聞いてみたい。」「自分が法曹に向いているか分からない。」という方，必見です。
法曹三者から直に話を聞き，質問をするチャンスもありますので，将来の進路の選択にお役立てください。

日時

令和元年7月29日(月)午後1時20分
(終了予定)午後4時40分

場所

最高裁判所(東京都千代田区隼町4番2号)

定員

200名(申込順, 要事前予約, 参加無料)
1グループ最大5名

対象

主に大学生, 高校生(中学生も申込み可能です。)

内容

最高裁判事の講話
法曹三者による基調講演(概要説明), パネルディスカッション
小法廷での法曹三者からの個別説明, 質疑応答

共催

最高裁判所, 法務省, 日本弁護士連合会

問合せ先

電話 03-3264-8151(最高裁判所見学ダイヤル)
平日の午前9時00分から午後5時00分まで

申込方法

定員に達したため、募集を締め切りました。たくさんのご応募ありがとうございました。

次の1から7までを記載したメールを送信してください。受付順に, 申込受付確認のメールを返信します。

- 1.【必須】人数(最大5名)
 - 2.【必須】氏名とふりがな(参加者全員)
 - 3.【必須】学年(参加者全員)
 - 4.【任意】学校名(参加者全員)
 - 5.【必須】メールアドレス(代表者のみ)
 - 6.【必須】電話番号(代表者のみ)
 - 7.【任意】法曹三者に聞いてみたいことがあれば, 自由に記載してください。
- ※ 申込受付完了のメール送信をもって, 予約受付となります。
※ 【必須】の事項が記載されていない申込みは, すべて無効とさせていただきます。
※ 申込後の変更は受け付けられませんので, 御了承ください。

- ・ [このページのトップへ](#)
- ・ [一つ前のページへ戻る](#)
- ・ [裁判所トップページへ](#)

「法曹という仕事」 アンケート

令和元年 最高裁判所事務総局広報課

本日はご参加いただき、ありがとうございました。今後の広報活動の参考にいたしますので、アンケートにご協力をお願いいたします。

(このアンケートは、法曹三者の今後の広報活動の実施、運営についての検討のために行うもので、この利用目的以外には一切使用しません。)

あなたのことを教えてください（可能な範囲でお答えください。）。

学年等	<input type="checkbox"/> 大４ <input type="checkbox"/> 大３ <input type="checkbox"/> 大２ <input type="checkbox"/> 大１ <input type="checkbox"/> 高３ <input type="checkbox"/> 高２ <input type="checkbox"/> 高１ <input type="checkbox"/> 中３ <input type="checkbox"/> 中２ <input type="checkbox"/> 中１ <input type="checkbox"/> 大学院生（ <input type="checkbox"/> 法科） <input type="checkbox"/> その他（ ）			
校名・学部等		大学・高校・ 中学・大学院		学部・科 ・専攻

企画について

ご参加の きっかけ	<input type="checkbox"/> 裁判所ウェブサイト <input type="checkbox"/> ツイッターなどのSNS <input type="checkbox"/> 法務省・日弁連ウェブサイト <input type="checkbox"/> 所属大学・高校に掲示されたポスター・チラシ <input type="checkbox"/> その他所属大学・高校からの案内 <input type="checkbox"/> 所属大学等の教員から勧められて <input type="checkbox"/> サークル等で誘われて <input type="checkbox"/> 先輩や友人に誘われて <input type="checkbox"/> 新聞 <input type="checkbox"/> 教育サイト（リセマム等） <input type="checkbox"/> その他（ ）
	(複数選択可)
感想	本企画全体について <input type="checkbox"/> 大変良かった <input type="checkbox"/> 良かった <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> あまり良くなかった <input type="checkbox"/> 全く良くなかった
	法曹三者による冒頭の概要説明 <input type="checkbox"/> 大変良かった <input type="checkbox"/> 良かった <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> あまり良くなかった <input type="checkbox"/> 全く良くなかった
	法曹三者によるパネルディスカッション <input type="checkbox"/> 大変良かった <input type="checkbox"/> 良かった <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> あまり良くなかった <input type="checkbox"/> 全く良くなかった
	裁判官によるワークショップ（第二小法廷） <input type="checkbox"/> 大変良かった <input type="checkbox"/> 良かった <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> あまり良くなかった <input type="checkbox"/> 全く良くなかった
	検察官によるワークショップ（第一小法廷） <input type="checkbox"/> 大変良かった <input type="checkbox"/> 良かった <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> あまり良くなかった <input type="checkbox"/> 全く良くなかった
	弁護士によるワークショップ（第三小法廷） <input type="checkbox"/> 大変良かった <input type="checkbox"/> 良かった <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> あまり良くなかった <input type="checkbox"/> 全く良くなかった
	その他（ ）※任意記載してください。 <input type="checkbox"/> 大変良かった <input type="checkbox"/> 良かった <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> あまり良くなかった <input type="checkbox"/> 全く良くなかった

(裏面に続く)

それぞれの企画について感想等があれば、自由にご記入ください。

法曹を進路の選択肢の一つとしていますか。

☐している。 ☐していない。 ☐していなかったが、本日参加して、しようと思った。

☐分からない。

そのように考えた理由があれば、自由にご記入ください。

今回のようなイベントの開催時期は、いつ頃がふさわしいと思いますか。

ふさわしい時期に○、ふさわしくない時期に×を記入してください。（複数選択可）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

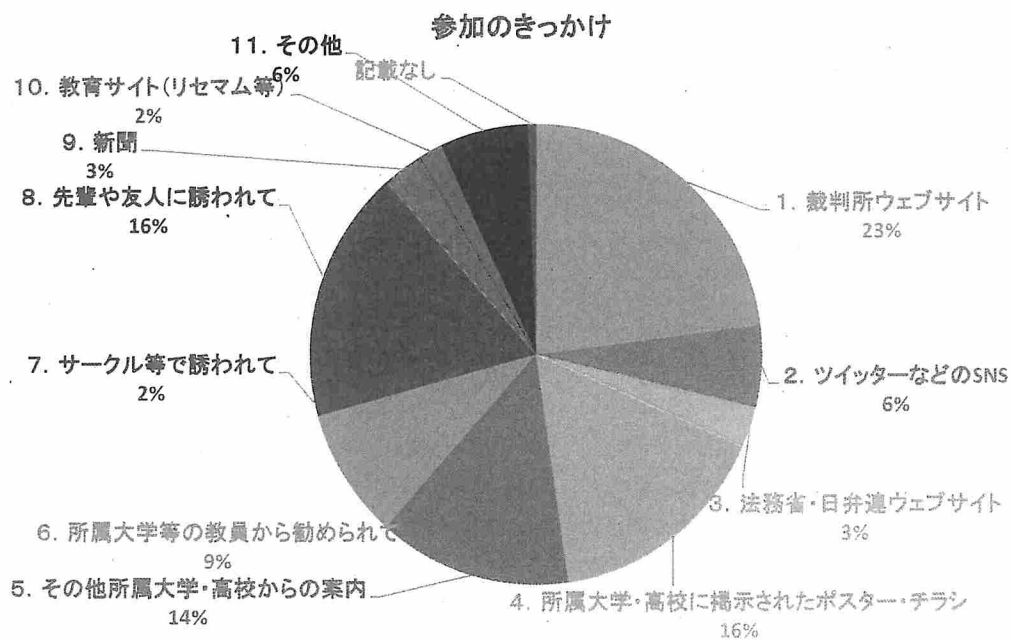
その他 ※ご意見・ご要望があれば、自由にご記入ください。

～アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。～

アンケート集計速報

参加のきっかけ

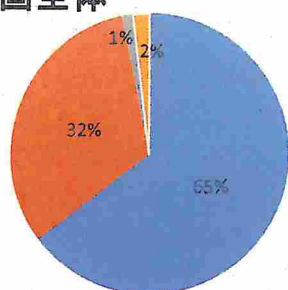
1	2	3	4	5	6
裁判所ウェブサイト	ツイッターなどのSNS	法務省・日弁連ウェブサイト	所属大学・高校に掲示されたポスター・チラシ	その他所属大学・高校からの案内	所属大学等の教員から勧められて
40	10	5	28	24	16
7	8	9	10	11	12
サークル等で誘われて	先輩や友人に誘われて	新聞	教育サイト(リセマム等)	その他	記載なし
3	28	5	3	11	1



企画感想

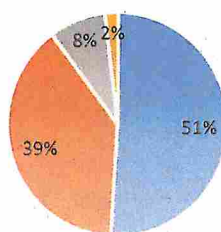
	1	2	3	4	5	
	大変良かった	良かった	普通	あまり良くなかった	全く良くなかった	記載なし
本企画全体	99	49	2	3	0	5
冒頭の概要説明	80	61	13	3	0	1
パネルディスカッション	96	51	8	1	1	1
裁判所WS	103	46	1	2	0	6
検察庁WS	102	43	5	1	0	7
弁護士WS	102	45	6	0	0	5
その他	9	1	1	0	0	147

本企画全体

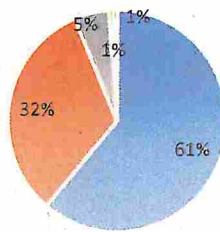


■ 1. 大変良かった
■ 2. 良かった

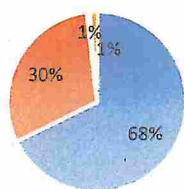
概要説明



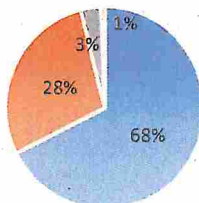
パネルディスカッション



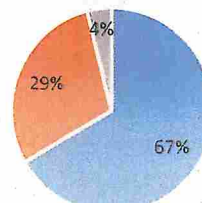
裁判所WS



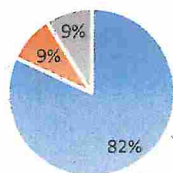
検察庁WS



弁護士WS



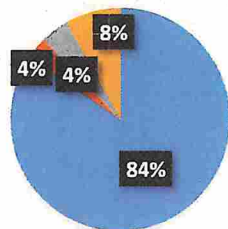
その他



進路選択

	1	2	3	4	5
	している	していない	していなかったが、本日参加しようと思った	分からない	記載なし
法曹を進路の選択肢としている	124	5	6	12	11

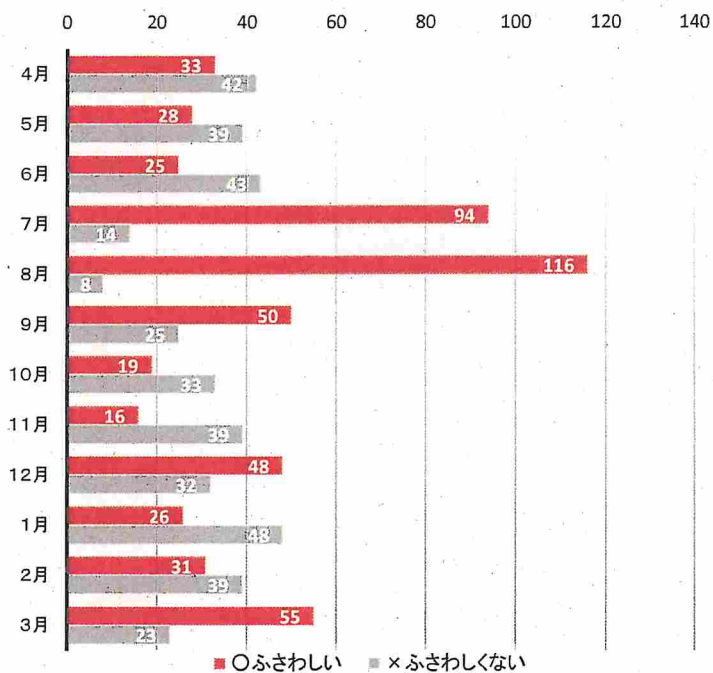
法曹を進路の選択肢の一つとしていますか



- 1. している
- 2. していない
- 3. していなかったが、本日参加しようと思った
- 4. 分からない

	○ふさわしい	×ふさわしくない
4月	33	42
5月	28	39
6月	25	43
7月	94	14
8月	116	8
9月	50	25
10月	19	33
11月	16	39
12月	48	32
1月	26	48
2月	31	39
3月	55	23

イベント開催時期に関する意見



決裁・供覧

件名	「法曹という仕事」裁判所ウェブサイト掲載用動画				文書番号	
					最高裁広第254号	
伺い文						
起案	起案日	令和1年9月20日			受付日	
	部署	最高裁判所 最高裁判所 事務総局広報課 広報課 広報係			決裁	決裁処理期限日
	起案者	中平 義隆				決裁日
	連絡先	内線3156			施行	施行処理期限日
	大分類	(広報) 広報 (事務)				施行日
	中分類	広報活動			施行先	
	名称(小分類)	広報活動等 (平成31年度)			施行者	
	秘密区分				取扱上の注意	
	秘密期間終了日				格付け	機密性格付け
	指定事由				取扱い	取扱い制限
取扱い区分				保存	行政文書保存期間	5年
					保存期間満了時期	令和7年3月31日
決裁・供覧欄	広報課 広報課 専門 広報係 広報係					
備考欄						

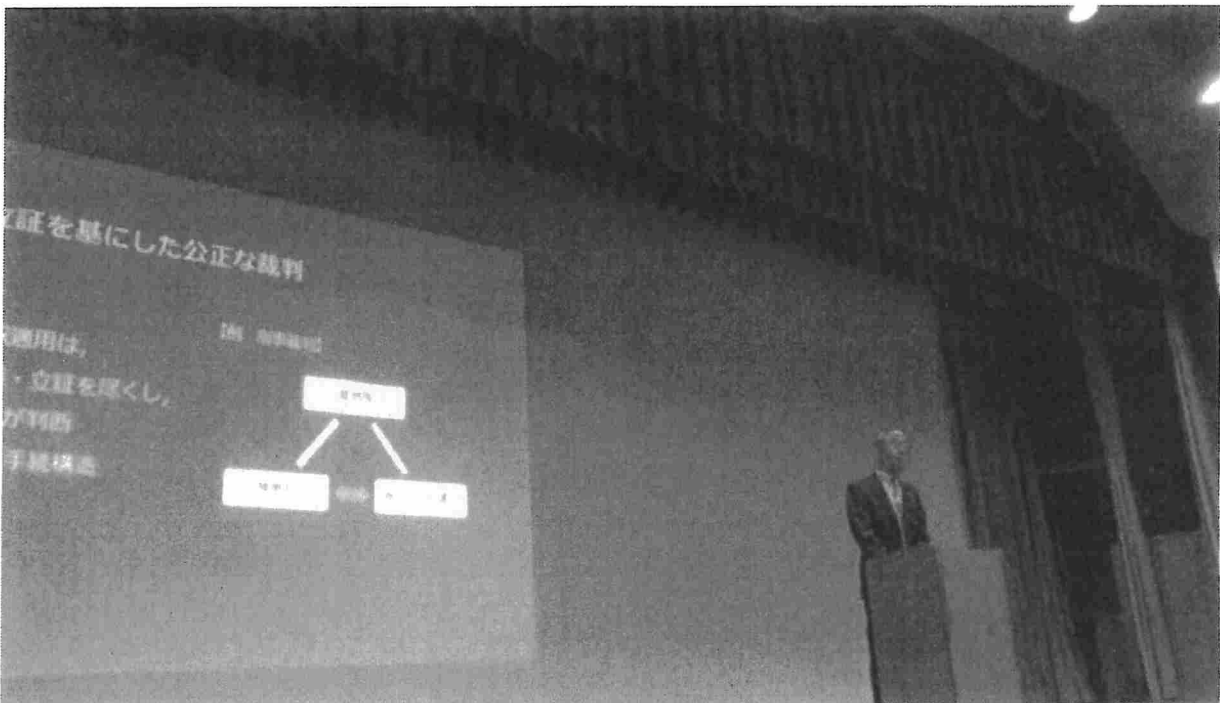
「法曹という仕事」の開催結果について

令和元年7月29日、最高裁判所で「法曹という仕事」というイベントが行われました。このイベントは、最高裁判所、法務省及び日本弁護士連合会が共催して、主に高校生や大学生の皆さんを対象として、裁判官、検察官及び弁護士といった「法曹三者」が、直接、それぞれの役割や仕事のやりがい、魅力などを紹介し、将来の進路選択の一助としてもらうことを目的としたものでした。このようなイベントを最高裁判所において開催するのは初めてのこととなりますが、募集定員である200名を超える多くの学生の方々から参加希望の申込みをいただきました。

イベントは、法曹三者が一堂に会して行われる第一部と、法曹三者がそれぞれ分かれてワークショップを行う第二部との二部構成で行われました。

第一部では、冒頭、池上政幸最高裁判事から、現代社会において司法が紛争を解決する上で法曹三者が果たしている役割(現代の訴訟制度が当事者主義的な構造を採用していることの積極的な意義)、法曹三者の仕事のやりがいなどについて基調講話がなされました。

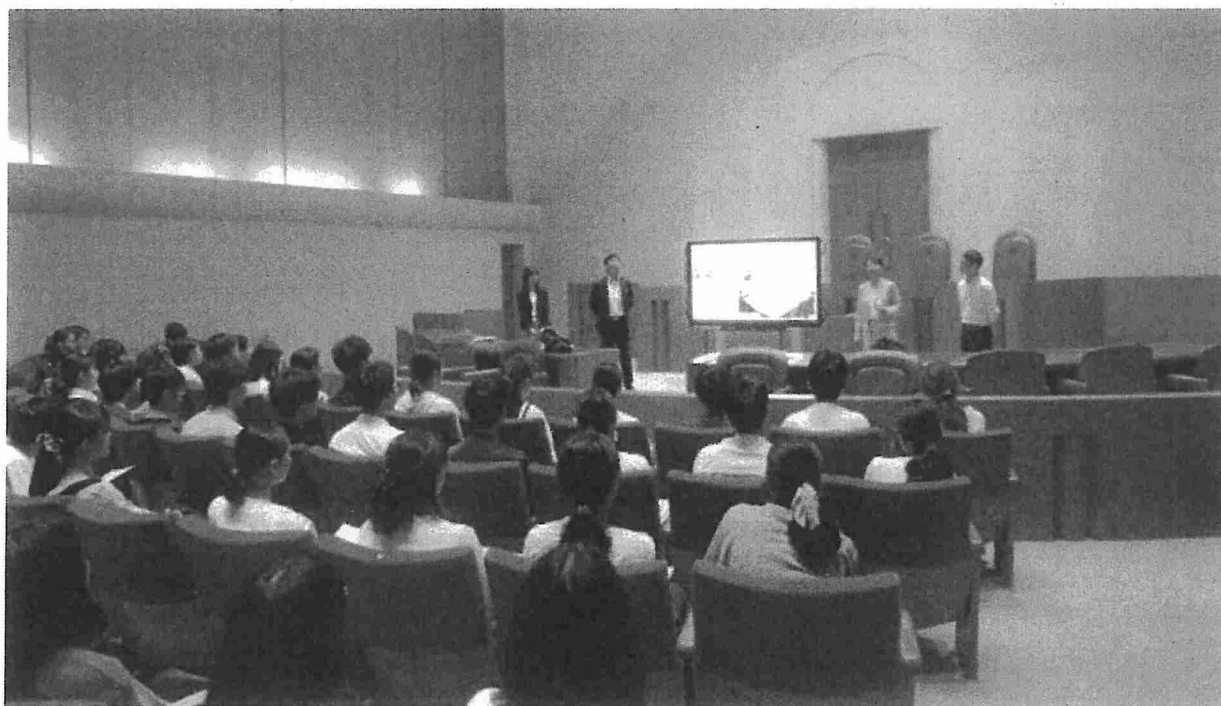
(動画はこちら)



その後、法曹三者それぞれから、裁判官、検察官及び弁護士の仕事の概要などについて説明がされた後、パネルディスカッションが行われました。パネルディスカッションにおいては、本イベントへの参加申込みの際に参加者から募っていた法曹三者に対する質問を基に、「高校や大学時代をどう過ごしていたか、あるいはどう過ごすべきか」「法曹三者それぞれの職業を選んだ理由や、それぞれの職業ならではのやりがい」「社会から求められている法曹の役割」などのテーマについて意見交換がされました。パネリストからは、「日頃から多様な考え方や価値観に出会い、自分の世界を広げていくことが大事」「法曹の仕事を行う上では、共感する力や想像力が重要」「法曹には普遍的な社会正義の実現、といったことが求められているのではないか」といった様々な意見が出され、イベントに参加した学生の皆さんも熱心に耳を傾けていました。



第二部では、最高裁判所に三つある小法廷に法曹三者が分かれ、それぞれの仕事の実際を紹介するワークショップが行われました。裁判所のワークショップでは、裁判官が個別の紛争について適正な解決を図るに当たっては、裁判所書記官や家庭裁判所調査官といったプロフェッショナルと協働することが重要であり、これが裁判官の仕事の魅力でもあるといった説明がされました。



ご参加いただいた学生の皆さんからは、「それぞれの仕事の実情をよりよく知る機会となった」「自分の進路を考える上で有益な機会であった」など、様々なご意見を頂戴しました。ご意見は、今後の広報企画の中にもいかしていきたいと思ひます。



たくさんのご参加ありがとうございました。

動画配信

池上政幸最高裁判事の基調講演動画(約20分)

池上政幸最高裁判所判事の講話「法曹という仕事」



「法曹という仕事」イベント紹介ダイジェスト動画(約12分)

「法曹という仕事」（法曹三者共催企画）ダイジェスト



- [このページのトップへ](#)
- [一つ前のページへ戻る](#)
- [裁判所トップページへ](#)



裁判所のウェブサイトでは、一部PDFを利用しています。PDFファイルをご覧頂くためには、Adobe Acrobat Readerが必要です。ボタンをクリックし、[Acrobat Readerをダウンロード](#)して下さい。

Copyrights (C) 2005 Supreme Court of Japan. All Rights Reserved.
写真、イラストおよび画像データの無断転載を禁じます。